



【民生委員編（介護負担対応）】

■悪い対応

妻を1年前に亡くした佐々木さん。最近は何を忘れるようになっており、介護をする長男の妻の負担が重くなってきています。時々、自宅を訪問してくれる民生委員がこの日も訪ねてきます。



長男の妻：どうぞ

民生委員：こんにちは。地区の民生委員です。
今日お約束していましたので、伺わせていただきました。

長男の妻：わざわざありがとうございます。
おじいちゃん、民生委員さんがよってくださったわよ。

佐々木：こんにちは。

民生委員：こんにちは。地区の民生委員です。少しよってみました。

佐々木：わざわざごめんなさい。どうしたんだろうね。

長男の妻：おじいちゃん、一昨日民生委員さんがいらっしゃるって話してたからきてくださったんだけど

佐々木：あ…、そうだったねえ（すっかり忘れている）。どうぞどうぞ。

民生委員：今日うかがうってこと、忘れてしまったんですか？しっかりしてくださいね。



佐々木：そうだったかねえ…すっかり最近は何を忘れたり…年なんだろうかね。

長男の妻：おじいちゃん、最近は何もこんな調子なんです。私、疲れてしまって。家族の面倒もみないとはいけません。いつまでこんな生活が続くんだろうかと考えると、いつそのこと死んでしまいたいとか、思ってしまうんです。



民生委員：お嫁さん、しっかりしてください。あなたがちゃんとしないと、おじいちゃん困ってしまうじゃないですか。大変だと感じるのも、気の持ちようです。おじいさん、物忘れがあると言っても、まだまだ元気なんだし。気晴らしにどこか出かけてみたらどうですか。



長男の妻：そのような気持ちになれないんです。やっぱり、家族が心配で出かけられないんです。

民生委員：でも人間気の持ちようですよ。

何とかやりくりしてみれば大丈夫じゃないでしょうか。
気晴らしが一番ですから。がんばってください。



長男の妻：頑張ると言われても…、とにかく大変で…こちらも辛くなってしまうて…。

民生委員：おじいちゃん、思ったより普段の生活はできているようですね。お会いしたところ、大丈夫そうですから、そんなに深刻に考えないほうがいいですよ。
私は今日はこの辺で帰りますね。



長男の妻：このままではおじいちゃんも、私も二人とも倒れてしまいかと心配で…。



民生委員：あなただけでなく、みんなつらい思いをして生活しているんですよ。そんな弱気になったら負けよ…。



長男の妻：前に、お話ししていた介護保険とかはどうでしょう…

民生委員：佐々木さんは見た感じ大丈夫そうですから、

また心配なことがあったら、連絡ください。
また来ますので。



あと、知り合いの病院の先生のところで相談してもいいんですよ。



長男の妻：はい、わかりました（少し不満そう）

民生委員：では、また心配なことがあったら連絡くださいね。

長男の妻：はい……。



【民生委員編（介護負担対応）】

■ 良い対応

妻を1年前に亡くした佐々木さん。最近は何を忘れるようになっており、介護をする長男の妻の負担が重くなってきています。時々、自宅を訪問してくれる民生委員が、この日も訪ねてきます。

長男の妻：どうぞ

民生委員：こんにちは。
地区の民生委員です。
今日来ることになっていて、
伺わせていただきました。



長男の妻：わざわざありがとうございます。
おじいちゃん、民生委員さんがよってくださったわよ。

佐々木：こんにちは。

民生委員：こんにちは。民生委員です。少しよってみました。

佐々木：わざわざごめんなさい。どうしたんだろうね。

長男の妻：おじいちゃん、一昨日民生委員さんいらっしゃるって話してたからきてくれたんだけど

佐々木：あ…そうだったねえ（すっかり忘れていた）。どうぞどうぞ。

民生委員：以前、町の健康の講演会でお会いして以来ですね。

佐々木：そうだったかねえ…、すっかり最近は何を忘れたり…、年なんだろうかね。



民生委員：あの時は参加者もいっぱいいらっしゃったから、だれがだれかなんてわかりませんよね。

長男の妻：おじいちゃん、疲れたといっているし、なんか外にでることもなくなったから、心配してきてもらったんですよ。

佐々木：そうだったのかい。私は大丈夫だよ。ただもう歳だからね。

長男の妻：おじいちゃん、最近いつもこんな調子なんです。私、疲れてしまっ。

民生委員：そうですか。本当によくやられていますね。

長男の妻：私も、最近気のせいか、少し疲れやすくて……、更年期かもしれないですね。



民生委員：そうでしたか…、大変ですよ。

(おじいちゃんが自分の部屋に戻る)

民生委員：実はね、私、あなたのことを心配してきました。

長男の妻：そうなんですか。

民生委員：はい。ご家族の介護でだいぶ大変じゃないかなと心配していました。この前、すれ違った時にだいぶ疲れているようだったから…。

お身体の調子はいかがですか。

長男の妻：なんだか体調が悪くて…。

民生委員：ずいぶんと大変ですね。ご飯は食べられていますか。

長男の妻：最近は食欲がなくて…、なんか一日中横になっていることもあるんです。

民生委員：それは随分と大変ですね。夜は眠れているんですか。

長男の妻：あまり眠れないんです…いろいろと考えてしまって、途中で起きたり…。

民生委員：それはお辛いですよ。何か心配なことがあるんじゃないですか。

長男の妻：そうかもしれません。家族の面倒もみないといけないし。いつまでこんな生活が続くんだろうかと考えると辛くなります。

民生委員：そうですか。そう考えてしまうのも無理はないですよ。ずいぶんと気持ちが追いつめられているように思いますが…

長男の妻：いっそのこと死んでしまいたいとか、つい思ってしまうんです。

民生委員：そこまで辛い状況だったんですね。ずいぶんお辛かったですね。

長男の妻：はい… (涙ぐむ) …そんなこと考えてはいけないと思っても、辛くて…



民生委員：そのような気持ちにはよくなるのですか？

長男の妻：時々なります。

民生委員：そのくらい辛いんですね。
具体的に考えてしまうこともあるんですか…

長男の妻：そこまでは、何とかしなきゃと思ってますから…、でも辛いんです。

民生委員：おひとりで悩んでらっしゃるのではないですか。
もしよければ悩みを話してくれませんか。

長男の妻：こんなことというのは苦しいんですが、介護が大変になっていて…、どうしたらいいかわからないんです。夫は家でみてほしいというんですが…最近お義父さんも物忘れするので…どこかに行ってしまうんじゃないかと思ったり、いろいろと心配になるんです。

民生委員：そうでしたか。実際に大変なこともおありのようですね。

長男の妻：ええ、物忘れして、「どこだ」って強く言われたりすると…辛くて…。
お前が隠したんじゃないかと言われてたり、頭では物忘れだからとわかっているんですが、実際にいわれると大変で…。
それでも、仲よくやってほしいと夫にいわれているから、一生懸命がんばっているんですけど。お義父さんはもともと気さくで私にも本当によくしてくださっていたので…、何とかできることはしてあげたいと思っています。

民生委員：そうだったんですか。
ずいぶんとがんばっているんですね。

長男の妻：（涙ぐむ）…一度、外出して、帰ってこれなくなったときがあるんです。
それからお義父さんが外出する時は心配で、家で待っていても落ち着かなくて。

民生委員：そうだったんですね。

長男の妻：これまではお義母さんがいたので、お義父さんもよかったですけど、お義父さんもきっとお義母さんがいなくて、さびしい気持ちもあるんだと思うんですよね。オシドリ夫婦だったから…。お義父さんにも不安な気持ちがあっても、でも、私に話すわけにもいかないからきっとストレスもたまっているんだと思います。
前より物忘れも目立つようになってきているし…お義父さんには長生きしてもらいたい…。



民生委員：そうでしたか。本当にあなたがすべてやっているのだから大変でしたね。



長男の妻：はい……。

民生委員：悩みを話せるお友達はいらっしゃいますか。



長男の妻：今までいたんですが…、最近は生活に追われて、あっという間に夜になり、電話するにもかけられなくて…。

民生委員：そうでしたか。ご主人はどうですか。



長男の妻：夫は優しくしてくれるんです。

でも、お仕事も忙しいから、いつも夜遅くに帰ってきて、疲れているようだからあまり心配かけたくないんです。それに、お義父さんと仲良くやってくれていると信頼してくれているから、負担だとはとてもいえないんです。

民生委員：そうでしたか。それでは、一人で抱えているんですね。



長男の妻：そうなんです。

ですから、今日声をかけていただいて、本当にありがたかったんです。

民生委員：こちらこそ、話していただいてありがとうございます。

本当にご苦労されていますよね。

お話をお聞きすると、疲れがあるようですが、気持ちも沈むことがあるんじゃないですか。



長男の妻：はい…

民生委員：気持ちもお辛そうですが、だいぶ気持ちの方も元気でないので不是吗ですか。

体調も悪いし、食欲もでない、眠れないということですから、それを和らげるのが先決に思いますが、いかがですか。



長男の妻：そうですね、でもどうしたらいいんでしょう、

民生委員：かかりつけのお医者さんはいらっしゃいますか。

長男の妻：ええ、時々更年期だと思って、産婦人科の佐藤先生にみてもらっています。

民生委員：そうでしたか。気持ちの方は相談されたことがありますか。

長男の妻：いえ、話したことはないです。先生から、体調悪いけどストレスはないか、と聞かれたことはあったんですが、こんな話できなくて…

民生委員：先生も気にかけてくださっているようですね。
親切な先生ですから、相談されてみてはどうでしょうか。
体調のこと、疲れていることなど…



長男の妻：話してよくなるんでしょうか。

民生委員：きっと健康面について、ストレスについて、いろいろと相談にのってくれると思いますよ。もし、専門の先生のところに行った方がよければ、それをすすめてくれると思いますし…



長男の妻：そうですか。そうしてみようかな。

民生委員：そうしてみてくださいね。ご自身でいけそうですか。

長男の妻：はい、1か月後に予約が入っていますので、

民生委員：そうですか。食べられていなかったり、眠れていないよう
ですから、早めに診ていただいた方がよいのではないで
しょうか。



長男の妻：そうですかね。

民生委員：そうですね。病院に今の様子を伝えてみて、このまま様子見ましょうということになるかもしれ
ませんし、もしかして、早めに受診してほしいということになるかもしれませんので、まずは、
ご相談していただくというはどうでしょう。

長男の妻：そうですね。1か月後では、心配でしたので、そうしてみたいと思います。

民生委員：それと、お義父さまのことですが…

長男の妻：はい…

民生委員：介護保険を使う状態かもしれませんけれど



長男の妻：そうなんですよね。わかってはいるんですが…

民生委員：少し介護のサービスも使って、あなたの負担を和らげるこ
とを考えてみてはいかがでしょう。
まだ介護保険申請していないんですよ。



長男の妻：はい…。

民生委員：お義父さまのかかりつけの先生に相談してみてもどうです
か。
まずは申請してみることから始めたらいいと思います
よ。



長男の妻：夫がどうか…

民生委員：ご主人にも大変になっていること相談してみてもいいですか。

まだ、そのことを話していないみたいですね。



長男の妻：はい…でも夫の父だから、私が邪魔者になっているか…

民生委員：お気持ち本当によくわかります。きっとご主人もわかってくれると思いますよ。

いろいろと大変なところがある面も相談されたいと思いますよ。



長男の妻：はい、確かに夫も話せばわかってくれるとは思いますが、心配かけるかなと思って。

民生委員：もし言いにくければ、私も説明してもよいですけど…

長男の妻：それは大丈夫です。私から伝えてみようともいます。



民生委員：そうですね。でもとても大変そうですから、もし困ったら遠慮なく相談してください。

長男の妻：はい、ありがとうございます。とてもつらかったけど、声をかけていただいて、ありがとうございました。少し気持ちが楽になりました。



民生委員：そうですね。こちらこそ、お話しくださってありがとうございました。

お医者さんに健康面について、ストレスについてご相談なさってくださいね。そしてお義父さんのこと、ご主人にお話していただいて、それで、もし困ったことがあったら遠慮なく教えていただけますか。



長男の妻：はい…いいんでしょうか…

民生委員：いいですよ。一緒に考えていきましょう。

長男の妻：ありがとうございます。

(場面が変わり、佐々木さんも一緒になる)

長男の妻：おじいちゃん、民生委員さんが、お帰りになりますよ。

佐々木：そうかそうか、また来てくださいね。

民生委員：はい、ありがとうございます。大変お邪魔しました。佐々木さんもお身体大事にしてください。

佐々木：はは…、大丈夫だよ。

民生委員：また伺わせていただいてもよろしいですか。

佐々木：いいですよ。

長男の妻：また来てください(安堵の顔)

民生委員：それでは失礼いたします。